

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	1	説明資料	99	項目番号	1・2
事務事業名	社会教育総務費										所管部課名	教育総務部		
												生涯学習課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	教育基本法、社会教育法						
事業目的	本市において、市民が、いつでも、どこでも、だれでもが学ぶことができ、学習成果を生かすことができる生涯学習社会の構築を図るため、社会教育行政の事務を遂行する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	社会教育委員会議の開催 国や県等の他機関主催の研修会への職員派遣 学習成果の地域活用事業 冊子「生涯学習」作成発行、社会教育施設との連絡調整、コミュニティセンターとの連携、社会教育主事配置など						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	879	850	924	1,669	千円
b 人件費	6,717	6,857	7,146	7,082	千円
正規職員	0.8	0.8	0.8	0.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	7,596	7,707	8,070	8,751	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・社会教育委員会議の開催(4回) 市民大学講座をテーマに審議、提言書作成 ・生涯学習課職員1人を社会教育主事として配置 ・生涯学習推進職員研修(3回) ・社会教育実習生受入れ(1名)	・社会教育委員会議の開催(4回) 家庭教育支援をテーマに審議 ・生涯学習課職員1人を社会教育主事として配置 ・生涯学習推進職員研修(3回) ・社会教育実習生受入れ(2名)	・社会教育委員会議の開催(4回) 家庭教育支援をテーマに審議 ・生涯学習課職員1人を社会教育主事として配置 ・生涯学習推進職員研修(2回) ・社会教育実習生受入れ(2名)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の 増減理由等)	・関東甲信越静社会教育研究大会が県で開催されたことにより、大会に係る経費が増加したため、令和7年度決算額が増加。	
今後の事業 の方向性	・社会教育委員の設置など、社会教育行政の基盤となるものであるため、今後も事業を継続していく。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	7	目	2	説明資料	101	項目番号	1
事務事業名	家庭教育振興事業費									所管部課名	教育総務部		
											生涯学習課		

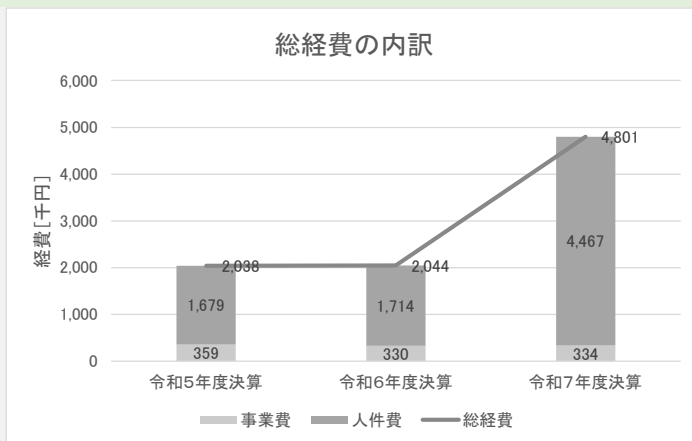
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市市	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	教育基本法、社会教育法							
事業目的	次世代を担う子どもたちの健全な育成のため、保護者に対する学習の機会や情報の提供等により家庭教育を支援する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	小学校の児童及びPTA等を対象とした親子工作教室の開催 小中学校のPTAを対象とした家庭教育講演会の開催							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	359	330	334	778	千円
b 人件費	1,679	1,714	4,467	4,427	千円
正規職員	0.2	0.2	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,038	2,044	4,801	5,205	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・家庭教育講演会 横須賀市PTA協議会に委託 3件 (講演会等12回実施) ・親と子の工作教室 小学校5校、コミュニティセンター1館	・家庭教育講演会 横須賀市PTA協議会に委託 3件 (講演会等11回実施) ・親と子の工作教室 小学校4校、コミュニティセンター1館	・家庭教育講演会 横須賀市PTA協議会に委託 3種類 (講演会等8回実施) ・親と子の工作教室 小学校4校、コミュニティセンター1館

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・家庭教育講演会の講師謝礼が低額で済んだことや、親と子の工作教室の開催校数が想定(10校)程度より少ないため、予算比減となっている。 ・家庭教育講演会の実施回数が令和5年度12回、令和6年度11回、令和7年度8回と減少傾向にあるが、これは令和5年度から実施した食育講演会の1回あたりの開催可能最低人数が集まらない回があり開催回数が減ったためである。 ・なお、令和5年度および6年度は正規職員に代わり人事課予算の育休代替会計年度職員が一部従事したため、人件費は抑えられている。
今後の事業の方向性	・家庭教育は、すべての教育の出発点であり、基本的な生活習慣や人格形成など、子どもたちの生きる力をはぐむ上で重要なことを学ぶ分野であることから、引き続き家庭教育の支援に取り組んでいく。 ・より多くの方に参加をしていただけるよう、開催方法の工夫など時機に敵った内容となるよう工夫を重ねていく必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	2	説明資料	101	項目番号	2
事務事業名	人権教育啓発事業費								所管部課名	教育総務部		
										生涯学習課		

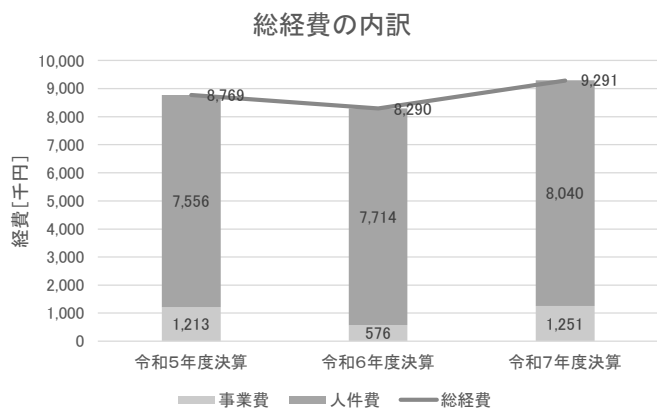
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律							
事業目的	人権に関する正しい認識と理解を深め、広く人権意識の高揚を図るため					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	・講演会や講座の開催 ・人権関係団体研究大会、講演会等への参加							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,213	576	1,251	1,559	千円
b 人件費	7,556	7,714	8,040	7,968	千円
正規職員	0.9	0.9	0.9	0.9	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	8,769	8,290	9,291	9,527	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
講演会の開催 ・人権を考える講演会(参加者 170人) ・同和問題を考える講演会(参加者 78名) 講座の開催 ・子どもと人権(3回、参加者 139人) ・夏休み！子ども映画会(参加者 128人) ・歴史から見る人権(3回、参加者 193人) ・人権セミナー(3回、参加者76人) ・暮らしの中の人権を考える(3回、130人)	講演会の開催 ・ハートフルフェスタ2024 in よこすか(参加者 253人) ・同和問題を考える講演会(参加者 105名) 講座の開催 ・子どもと人権(3回、参加者 59人) ・夏休み！子ども映画会(参加者 110人) ・歴史からみる人権(3回、参加者 74人) ・人権セミナー(3回、参加者 74人) ・暮らしの中の人権を考える(3回、参加者 58人)	講演会の開催 ・人権を考える講演会(参加者 141人) ・同和問題を考える講演会(参加者 91名) 講座の開催 ・子どもと人権(2回、参加者 59人) ・夏休み！子ども映画会(参加者 89人) ・歴史から見る人権(3回、参加者 122人) ・人権セミナー(3回、参加者136人) ・暮らしの中の人権を考える(3回、79人)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	・令和6年度は人権を考える講演会の講師謝金を他部局等の予算で支出したため、令和7年度は事業費が増加している。	
今後の事業の方向性	・多様化する人権課題に的確に対応した講演会・講座を企画・運営し、より多くの市民が参加したいと思えるような工夫をしながら、今後も事業を継続する。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	2	説明資料	101	項目番号	3
事務事業名	PTA活動振興事業費										所管部課名	教育総務部		
												生涯学習課		

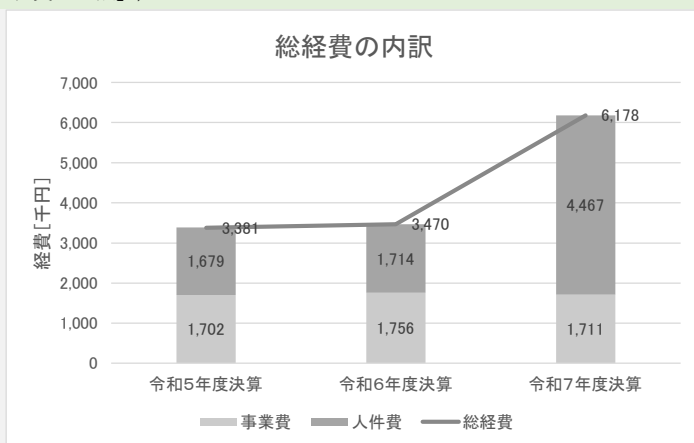
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	社会教育関係団体である横須賀市PTA協議会等の独立性を担保し、自主的な運営と活動を活性化させることで、各校のPTA活動の振興を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・市PTA協議会の運営、事業に対する補助金の交付 ・神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会への補助金の交付						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,702	1,756	1,711	1,898	千円
b 人件費	1,679	1,714	4,467	4,427	千円
正規職員	0.2	0.2	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,381	3,470	6,178	6,325	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
横須賀市PTA協議会へ運営費及び事業費補助を行った。 ・インターネット安全対策事業実施 ・家庭教育学級 4校実施 神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会への補助金交付	横須賀市PTA協議会へ運営費及び事業費補助を行った。 ・インターネット安全対策事業実施 ・家庭教育学級 5校実施 神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会への補助金交付	横須賀市PTA協議会へ運営費及び事業費補助を行った。 ・インターネット安全対策事業実施 ・家庭教育学級 4校実施 神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会への補助金交付

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・家庭教育学級について、実施校数が想定(8校程度)より少なく、また見込みより講師謝礼が低額で済んだため補助額が予算比で減少した。 ・なお、令和5年度および6年度は正規職員に代わり人事課予算の育休代替会計年度職員が一部従事したため、人件費は抑えられている。
今後の事業の方向性	各校のPTA活動を支援する市PTA協議会の役割は大変重要であるため、今後も連携を図りながら財政的支援を続けていく。人々の意識の変化や新型コロナウイルス感染症による活動停止を経験した中で今の社会に合ったPTA活動の支援を検討し、シフトしていくことが大きな課題だと考えている。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	2	説明資料	102	項目番号	4
事務事業名	学校開放事業費										所管部課名	教育総務部		
												生涯学習課		

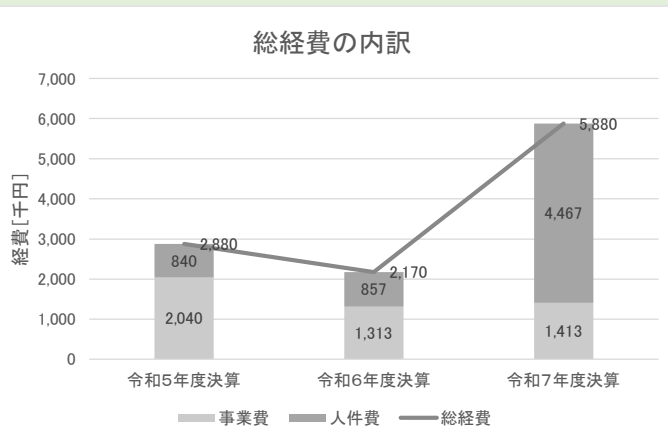
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	教育基本法、社会教育法						
事業目的	横須賀市立学校等の施設を学校教育に支障がない範囲において地域の市民団体・学習団体に開放し、社会教育の普及及び青少年の健全な育成を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	地域住民等の利用のため、以下の施設を開放している。 ・市立学校(1校)の和室等 ・ゆうゆう坂本相談教室						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,040	1,313	1,413	2,398	千円
b 人件費	840	857	4,467	4,427	千円
正規職員	0.1	0.1	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,880	2,170	5,880	6,825	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・市立学校の開放 和室等の開放 5校（鷹取小、桜小、栗田小、野比東小、武山小） 養護学校の開放 ・ゆうゆう坂本相談教室施設の開放		・市立学校の開放 和室等の開放 2校（鷹取小、桜小） 養護学校の開放 ・ゆうゆう坂本相談教室施設の開放	・市立学校の開放 和室等の開放 1校（鷹取小） ・ゆうゆう坂本相談教室施設の開放
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和6年度から、施設の利用状況を踏まえ開放校を5校から2校に減じ、令和7年度からは1校に減じた。 ・ゆうゆう坂本相談教室の体育館・グラウンド開放について、令和6年度から相談教室の利用を優先し平日午前の貸出を行わないこととしたため、令和6年度の事業費が減少している。 ・体育館およびグラウンドの開放はスポーツ振興課、和室等の開放は生涯学習課が管理している。令和6年度までは、体育館等と和室等の利用日が重複した場合、スポーツ振興課が学校施設開放管理員の報償金を支払っていたため、当課は支払いの一部を免れていた。しかし令和7年度から、体育館等は利用者による自主管理となり、スポーツ振興課の報償金がなくなったため、全ての利用時間帯に対して支出が必要となり、事業費が増加した。 ・なお、令和5年度及び6年度は正規職員に代わり人事課予算の育休代替会計年度任用職員が一部従事しているため、人件費は抑えられている。		
今後の事業 の方向性	地域におけるグループ活動の場の提供は生涯学習社会の進展という目的に対して有効であるため、学校と調整を図りながら事業を継続していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	3	説明資料	104	項目番号	2(1)
事務事業名	文化財施設等維持管理事業								所管部課名	教育総務部		
										生涯学習課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	文化財保護法						
事業目的	本市に所在する指定文化財等の適切な維持管理と良好な保全を図ること					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	- 指定文化財所有者に対する維持管理の助言、および管理奨励金の交付と指定文化財の修理に対する保存修理補助金の交付 - 本市が所有または管理する文化財施設等（史跡や天然記念物、相当施設）の維持管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	11,001	15,076	20,265	20,641	千円
b 人件費	5,471	5,590	5,870	5,695	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.4	0.4	0.4	0.4	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	16,472	20,666	26,135	26,336	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・文化財保存管理奨励金の交付 25件 ・史跡安全対策工事 1件 ・史跡等の除草清掃業務委託 4件 ・史跡等の樹木管理事業 4件 ・指定文化財修理事業への補助金交付 1件 (天神社 絹本著色天神像修復事業)		・文化財保存管理奨励金の交付 25件 ・史跡安全対策工事 1件 ・史跡等の除草清掃業務委託 4件 ・史跡等の樹木管理事業 7件 ・指定文化財修理事業への補助金交付 2件 (満昌寺収蔵庫修理事業、浄楽寺収蔵庫修理事業)	・文化財保存管理奨励金の交付 26件 ・史跡等の除草清掃業務委託 4件 ・史跡等の樹木管理事業 9件 ・指定文化財修理事業への補助金交付 1件 (満昌寺三浦義明坐像修復事業)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	・事業の性格上、自然災害等への安全対策工事の有無が事業費の増減に大きく影響する。 ・令和6年度は吉井貝塚の高木、老木の伐採のために予算を増額していたが、伐採前に貝塚で倒木があったため、さらに緊急で予算を流用して周辺の危険樹木の伐採をあわせて行った。 ・令和7年度は吉井貝塚の危険樹木の伐採を行い、さらに入札差金を活用してその他史跡の危険樹木の伐採をあわせて行った。		
今後の事業 の方向性	・文化財の保全および安全対策にかかる事業であるため、継続して実施していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	3	説明資料	104	項目番号	2(2)																
事務事業名	近代化遺産保存活用事業										所管部課名	教育総務部 生涯学習課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込		未定																						
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令	文化財保護法																													
事業目的	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	近代化遺産・近代遺跡の調査実施、報告書の作成																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					2,146	1,602	1,873	1,897	千円																					
b 人件費					1,679	857	893	885	千円																					
正規職員					0.2	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																					
総経費（a + b）					3,825	2,459	2,766	2,782	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費 (千円)</th><th>人件費 (千円)</th><th>総経費 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>2,146</td><td>1,679</td><td>3,825</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>1,602</td><td>857</td><td>2,459</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>1,873</td><td>893</td><td>2,766</td></tr></tbody></table>															年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	令和5年度決算	2,146	1,679	3,825	令和6年度決算	1,602	857	2,459	令和7年度決算	1,873	893	2,766
年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)																											
令和5年度決算	2,146	1,679	3,825																											
令和6年度決算	1,602	857	2,459																											
令和7年度決算	1,873	893	2,766																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・近代遺跡出土資料整理作業 ・200トンクレーン等機械類の保存					・近代遺跡出土資料整理作業 ・200トンクレーン等機械類の保存					・近代遺跡出土資料整理作業 ・200トンクレーン等機械類の保存																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・整理作業の増減により、年度ごとの経費は変動する。 ・令和6年度は近代に関する文化財調査件数が少なかったことに伴い、本事業に従事する職員の事務量が減少したため、人件費が減少した。 ・令和7年度は整理作業の量がやや増加したことに加え、職員の人件費および調査員への報償費単価が上昇し、増額となった。																													
今後の事業の方向性	本市を特徴づける近代化遺産・近代遺跡の調査であるため、今後も継続していく。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	3	説明資料	105	項目番号	3
事務事業名	文化財保護基礎資料作成事業費								所管部課名	教育総務部		
										生涯学習課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	文化財保護法						
事業目的	文化財を将来に継承していくための根拠となる基礎資料の収集及び公表					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・埋蔵文化財やその他発掘調査等で出土した資料・図書類の整理及び調査報告書の刊行 ・新たな市指定文化財候補の調査・研究						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,854	16,098	15,046	15,920	千円
b 人件費	5,877	8,571	7,146	7,082	千円
正規職員	0.7	1.0	0.8	0.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	8,731	24,669	22,192	23,002	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・出土資料の整理作業の実施 ・文化財調査報告書の刊行 1冊 ・新指定候補文化財の調査 1件	・埋蔵文化財の調査 1件 (浦賀奉行所跡) ・出土資料の整理作業の実施	・埋蔵文化財の調査 1件 (浦賀奉行所跡) ・出土資料の整理作業の実施 ・文化財調査報告書の刊行 1冊

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和6年度は、新たに浦賀奉行所跡埋蔵文化財調査業務を行ったため、事業費、人件費が増加した。 ・令和7年度は、前年度に引き続き浦賀奉行所跡埋蔵文化財調査業務を行った。2年目となり調査の進捗が安定したため、職員の分担を見直し、人件費が減額となった。
今後の事業 の方向性	・浦賀奉行所跡は令和8年度に現地での発掘調査を終了する予定。今後は、出土資料の整理等を行い、報告書の作成を進める。 ・発掘調査した記録は、報告書の刊行によって保存され後世に伝えていくことになる。また、市指定文化財を新たに指定することは、本市を特徴づける貴重な財産となるため、今後も継続して実施する。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	3	説明資料	106	項目番号	4
事務事業名	文化財保護周知啓発事業費								所管部課名	教育総務部		
										生涯学習課		

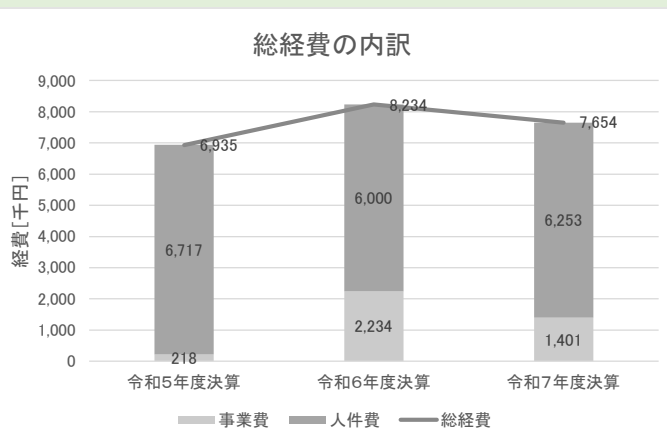
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市市	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	文化財保護法						
事業目的	指定文化財等の価値や魅力を市内外の人々に知ってもらえる機会をつくり、その保存や継承への意識・理解を深めること					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・民俗芸能関係イベントの開催 ・文化財説明板・案内板の設置・改修 ・新指定文化財・発掘調査の速報展(トピックス展)の開催 ・文化財保護に関するポスター展の開催 ・文化財講座の実施(生涯学習財団との共催)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	218	2,234	1,401	1,534	千円
b 人件費	6,717	6,000	6,253	6,197	千円
正規職員	0.8	0.7	0.7	0.7	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	6,935	8,234	7,654	7,731	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・よこすか民俗芸能まつり (コースカベイサイドストアーズ) ・文化財説明板の改修(3基) ・指定文化財・発掘調査のトピックス展 (市役所1階展示コーナー、生涯学習センター、西行政センター、衣笠行政センター、浦賀行政センターを巡回) ・文化財保護に関するポスター展 (市役所1階展示コーナー) ・文化財講座	・横須賀市民俗芸能大会の開催 (文化会館大ホール) ・文化財説明板の設置(1基新設) ・指定文化財・発掘調査のトピックス展の開催 (市役所1階展示コーナー、衣笠行政センター、浦賀行政センター、久里浜行政センター、生涯学習センターで展示) ・文化財保護に関するポスター展示 (市役所1階展示コーナー) ・文化財講座の開催	・よこすか民俗芸能まつり (横須賀総合高校) ・文化財説明板等の設置(2基新設) ・指定文化財・発掘調査のトピックス展の開催 (市役所1階展示コーナー、生涯学習センター、衣笠行政センター、浦賀行政センターで展示) ・文化財保護に関するポスター展示 (市役所1階展示コーナー) ・文化財講座の開催

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	文化財説明板は、年度によって件数や内容の相違があり、事業費が変動する。 民俗芸能については、隔年で民俗芸能大会と小規模の民俗芸能まつりを行っているため、事業費が増減する。
今後の事業の方向性	・文化財の将来への継承のためには、周知啓発によりその価値を伝えていく必要があるため、今後も継続して実施する。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	文化財緊急調査事業費	所管部課名	教育総務部
			生涯学習課

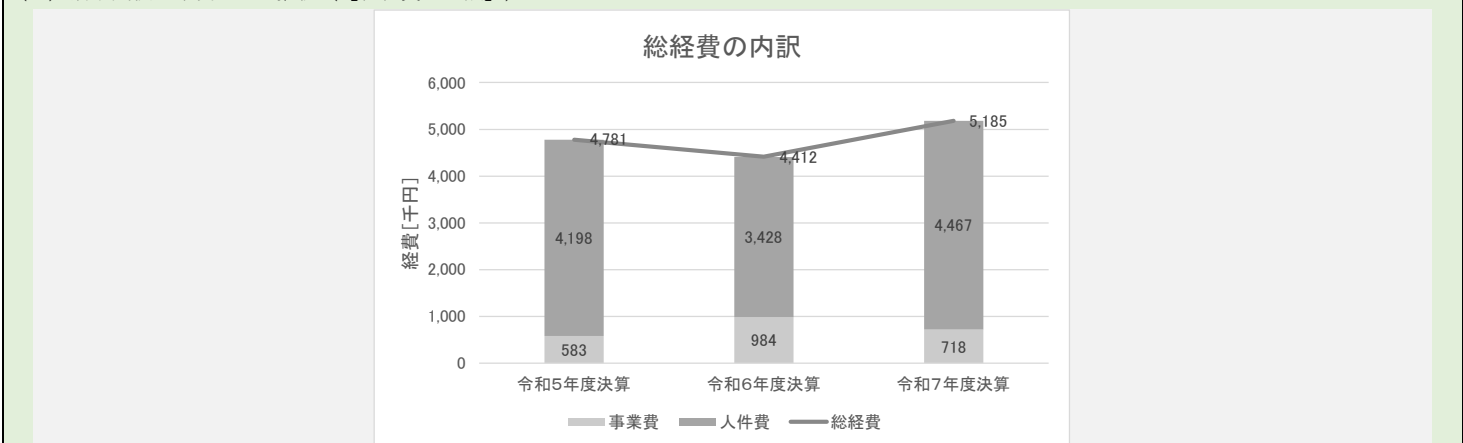
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	文化財保護法						
事業目的	・開発行為等と埋蔵文化財保護の調整を図ること ・老朽化や災害等により消滅・き損の恐れのある有形文化財等の保存を図ること					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・開発行為等に伴う埋蔵文化財調査(事業者の届け出により確認を行い、必要に応じて試掘調査を実施) ・消滅・き損の可能性のある文化財の現地調査						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	583	984	718	1,000	千円
b 人件費	4,198	3,428	4,467	4,427	千円
正規職員	0.5	0.4	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	4,781	4,412	5,185	5,427	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・開発行為等に伴う事前試掘調査 3件 ・その他近代化遺産等文化財調査 1件	・開発行為等に伴う事前試掘調査 6件	・開発行為等に伴う事前試掘調査 2件 ・その他近代化遺産等文化財調査 1件

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・埋蔵文化財包蔵地の開発行為、その他本市の歴史上重要な近代化遺産等の消滅・毀損に伴う緊急調査が対象であるため、年度ごとの対象数等により経費が変動する。 ・令和6年度は試掘件数が増えたが業務委託により職員の負担は軽減した。 ・令和7年度は近代化遺産の調査があったため、前年度に比べて人件費が増加した。
今後の事業 の方向性	・開発行為等に伴う埋蔵文化財調査は法令に定められた業務であること、また近代化遺産については本市を特徴づける資料の収集として必要な調査と考えているため、今後も継続して実施する。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	3	説明資料	106	項目番号	6(1)
事務事業名	文化財保護事務費										所管部課名	教育総務部		
												生涯学習課		

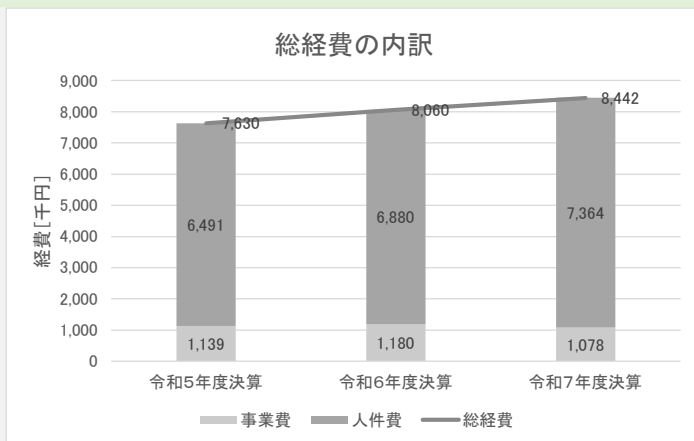
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	文化財保護法						
事業目的	文化財保護事務全般の円滑な執行を図ること					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	文化財専門審議会の運営及び文化財保護に係る事務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,139	1,180	1,078	1,308	千円
b 人件費	6,491	6,880	7,364	7,354	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	3,133	3,452	3,791	3,813	千円
総経費（a + b）	7,630	8,060	8,442	8,662	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
文化財専門審議会の開催 4回 新指定候補についての審議や、市内所在の文化財等について有識者から指導を仰いだ。	文化財専門審議会の開催 4回 新指定候補についての審議や、市内所在の文化財等について有識者から指導を仰いだ。	文化財専門審議会の開催 3回 新指定候補についての審議や、市内所在の文化財等について有識者から指導を仰いだ。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和6年度、令和7年度と会計年度職員の給与改定により年々人件費が増となっている。	
今後の事業 の方向性	・文化財専門審議会是有識者の知見から文化財保護等に関する専門的な助言をもらう場であるため、今後も継続して実施していく。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	3	説明資料	106	項目番号	6(2)																
事務事業名		埋蔵文化財一時収蔵保管庫維持管理費									所管部課名	教育総務部 生涯学習課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	施設の維持管理に係る業務																													
根拠法令																														
事業目的	埋蔵文化財発掘調査に伴う出土品や歴史資料等の保管及び整理作業を行うため、横須賀総合高校実習棟に文化財整理室を置く。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	文化財整理室における通信回線利用料																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					224	194	186	219	千円																					
b 人件費					840	857	893	885	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																					
総経費（a + b）					1,064	1,051	1,079	1,104	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>224</td><td>840</td><td>1,064</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>194</td><td>857</td><td>1,051</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>186</td><td>893</td><td>1,079</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	224	840	1,064	令和6年度決算	194	857	1,051	令和7年度決算	186	893	1,079
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	224	840	1,064																											
令和6年度決算	194	857	1,051																											
令和7年度決算	186	893	1,079																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
文化財整理室にかかる維持管理経費					文化財整理室にかかる維持管理経費					文化財整理室にかかる維持管理経費																				
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）		・事業費は電話代等の通信回線利用料のみであるため、事業費はほぼ一定である。 ・文化財整理作業従事者への報償金は、近代化遺産保存活用事業費および文化財基礎資料作成事業費から支出している。																												
今後の事業の方向性		・埋蔵文化財等の資料整理を行うスペースは必要であるため、建物全体の状況も踏まえながら利用を継続していく。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	4	説明資料	108	項目番号	2
事務事業名	図書館資料費								所管部課名	教育総務部		
										中央図書館		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	図書館法						
事業目的	市民の学習、教養、調査研究、趣味などに役立つ資料、地域の特性に適した資料を収集し、市民の利用に供することにより、教育と文化の発展に寄与する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	各図書館・図書室の図書、雑誌、新聞等を収集し、閲覧・貸出を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	51,014	46,754	45,765	47,245	千円
b 人件費	49,400	50,461	52,829	51,686	千円
正規職員	4.5	4.5	4.5	4.5	人
再任用職員（短時間を含む）	2.2	2.2	2.2	2.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	100,414	97,215	98,594	98,931	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・図書貸出冊数 1,336,805冊 ・入館者数 753,571人	・図書貸出冊数 1,314,484冊 ・入館者数 754,574人	・図書貸出冊数 1,264,367冊 ・入館者数 757,967人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	事業費は、主に図書館で閲覧用図書類を購入する経費である。 令和6年度に電子図書館サービスを導入したことに伴い、当該事業費予算の一部を紙の書籍から電子書籍購入へ配分変更したため、事業費が減少した。 人件費の増は、職員賃金単価の増によるものである。
今後の事業 の方向性	今後も紙媒体の図書サービスを充実させるとともに、電子図書館の利用促進を図り、利用実態を踏まえて両媒体の特性を活かしたサービス展開に取り組み、誰もが読書に親しむことができる環境の整備に努める。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	4	説明資料	108	項目番号	3
事務事業名	視聴覚教育振興費										所管部課名	教育総務部		
												中央図書館		

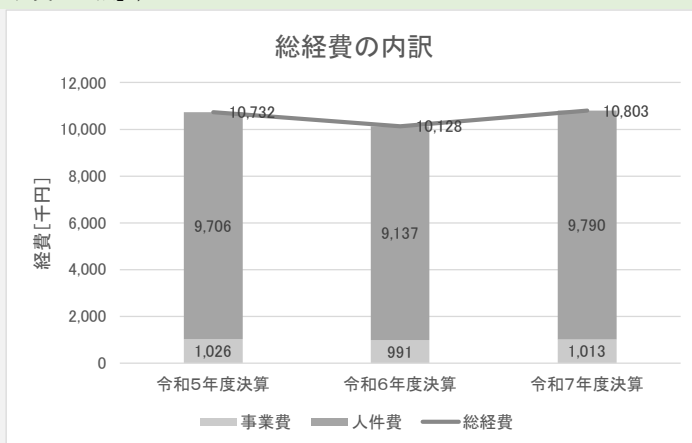
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	図書館法						
事業目的	市民の学習、教養、調査研究、趣味などに役立つ、また、地域の特性に適した視聴覚資料を収集し、市民の利用に供することにより、教育と文化の発展に寄与する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・中央図書館視聴覚ライブラリーのDVD、CD等を収集し、貸出を行う。 ・中央図書館視聴覚ホールで、映画会等を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,026	991	1,013	1,013	千円
b 人件費	9,706	9,137	9,790	10,899	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	5,508	4,851	5,323	6,472	千円
総経費（a + b）	10,732	10,128	10,803	11,912	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・視聴覚資料貸出数 9,714件 ・視聴覚ライブラリー利用者数 1,432人	・視聴覚資料貸出数 9,720件 ・視聴覚ライブラリー利用者数 1,427人	・視聴覚資料貸出数 9,673件 ・視聴覚ライブラリー利用者数 1,375人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	事業費は、ほぼ横ばいで推移している。 人件費は、令和6年度については、パートタイム会計年度任用職員の1名減により減少、令和7年度については、会計年度任用職員の賃金単価上昇により増加した。
今後の事業の方向性	変化する利用者のニーズを注視しながら、視聴覚資料の収集を行い、貴重な郷土資料については、優先順位をつけながらデジタル化を図っていくこととしたい。映画会についても広報手段を工夫しながら引き続き、実施していくこととしたい。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	4	説明資料	109	項目番号	4
事務事業名	図書館情報サービス事業費								所管部課名	教育総務部		
										中央図書館		

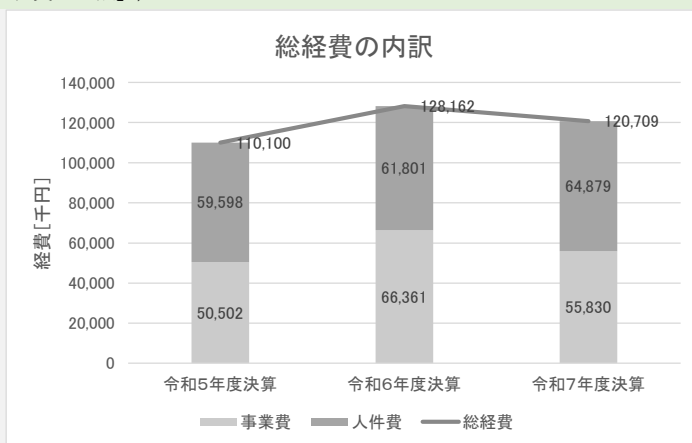
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	図書館法						
事業目的	図書館システムの運用、図書館・図書室等間の図書配送等により、利用者の利便性を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・図書館システムの運用、保守管理 ・セルフ貸出機等の運用、保守管理 ・図書館・図書室等間の図書配送業務 ・各図書館インターネットコーナーの運営 ・電子図書館の導入、運営						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	50,502	66,361	55,830	56,178	千円
b 人件費	59,598	61,801	64,879	64,192	千円
正規職員	5.5	5.6	5.6	5.6	人
再任用職員（短時間を含む）	1.5	1.5	1.5	1.5	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	5,498	5,696	6,243	6,538	千円
総経費（a + b）	110,100	128,162	120,709	120,370	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・図書貸出冊数 1,336,805冊 ・入館者数 753,571人 ・インターネットコーナー利用者数 7,555人	・図書貸出冊数 1,314,484冊 ・入館者数 754,574人 ・インターネットコーナー利用者数 7,346人 ・電子書籍貸出回数 17,471回	・図書貸出冊数 1,264,367冊 ・入館者数 757,967人 ・インターネットコーナー利用者数 7,173人 ・電子書籍貸出回数 17,815回

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	令和6年度は電子図書館導入に伴うインターネットサイト構築等の費用が発生したため、事業費が大幅に増加した。人件費の増は、職員賃金単価の増によるものである。
今後の事業 の方向性	図書館システム及び図書館・図書室・駅の返却ボックス等を結ぶ配送業務は、図書館サービスの中核をなすものであるため、利用者の利便性と業務効率性を踏まえつつ、引き続き実施していく。 令和6年度に開始した電子図書館サービスについては、市立小中学校との連携や利用者ニーズに基づく選書、適切な広報活動により利用促進に努める。 今後も紙媒体の図書サービスの充実とともに電子図書館の利用促進を図り、利用実態を踏まえた両媒体の特性を活かしたサービス展開に取り組み、誰もが読書に親しめる環境の整備に努める。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	4	説明資料	110	項目番号	6
事務事業名	郷土資料整理公開事業費										所管部課名	教育総務部		
												中央図書館		

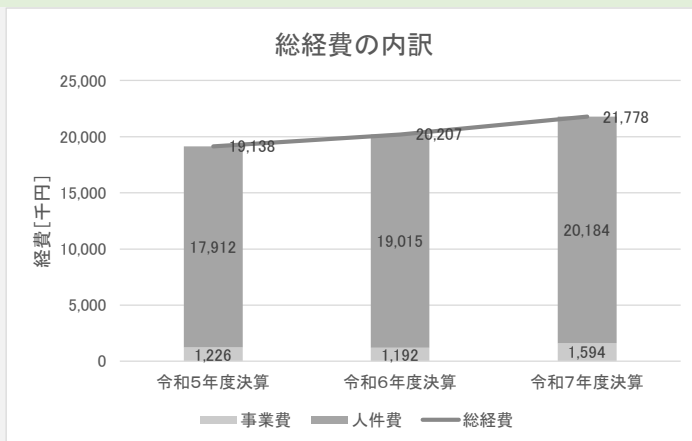
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務							
根拠法令	図書館法							
事業目的	郷土資料の公開・活用を通じ、市民の郷土意識を高め、教育と文化の発展に寄与する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	・郷土資料の整理保存 ・企画展示等の開催 ・郷土資料に関する問い合わせ及び相談対応 等							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,226	1,192	1,594	1,711	千円
b 人件費	17,912	19,015	20,184	20,201	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	9,516	10,444	11,251	11,348	千円
総経費（a + b）	19,138	20,207	21,778	21,912	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・問い合わせ及び相談件数 125件	・問い合わせ及び相談件数 106件	・問い合わせ及び相談件数 122件
・資料利用及び閲覧許可件数 56件	・資料利用及び閲覧許可件数 56件	・資料利用及び閲覧許可件数 68件
・ミニ展示会開催数 2回	・企画展示等開催数 3回	・企画展示等開催数 5回
・刊行物の発行 3回	・刊行物の発行 2回	・刊行物の発行 3回
・図書館HPデジタルアーカイブ資料公開数 507点	・図書館HPデジタルアーカイブ資料公開数 561点	・図書館HPデジタルアーカイブ資料公開数 548点
・資料の複製・デジタル化件数 26点	・資料の複製・デジタル化件数 68点	・資料の複製・デジタル化件数 17点

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和7年度の事業費の増は、昭和100年関連事業経費の一時的な増によるものである。 人件費の増は、職員賃金単価の増によるものである。
今後の事業 の方向性	デジタル化を含めた資料の整理保存を進め、SNSを用いた情報の発信、デジタルアーカイブでの資料公開など、貴重な郷土資料を公開・活用できる環境を整えていく。また、市民等に郷土の歴史や文化を伝えていくため、刊行物（緒明山通信）の発行や展示会の開催等を継続していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	4	説明資料	110	項目番号	7
事務事業名	図書館運営管理費										所管部課名	教育総務部		
												中央図書館		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	図書館法						
事業目的	図書館業務を円滑に遂行するために、中央、児童、北、南の各図書館の管理運営を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	図書館の維持管理・運営業務 ・清掃、警備、保守管理、検査などの業務の委託 ・施設や設備等の修繕 ・光熱水費の管理 ・運営スタッフの任用管理 等						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	54,848	56,791	58,773	60,878	千円
b 人件費	93,454	104,556	104,234	119,379	千円
正規職員	4.1	4.2	3.7	5.7	人
再任用職員（短時間を含む）	2.0	2.0	1.5	0.5	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	48,468	57,748	62,570	66,224	千円
総経費（a + b）	148,302	161,347	163,007	180,257	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・図書貸出冊数 1,336,805冊 ・入館者数 753,571人	・図書貸出冊数 1,314,484冊 ・入館者数 754,574人	・図書貸出冊数 1,264,367冊 ・入館者数 757,967人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	事業費の増は、施設の老朽化に伴う修繕費の増及び光熱水費の増によるものである。 人件費の増は、職員賃金単価の増によるものである。
今後の事業 の方向性	各館とも施設の老朽化が進んでおり、今後は利用者の安全を最優先に考え、施設の維持管理を徹底するとともに、利用者が居心地の良さを感 じられる環境づくりを進めていく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	5	説明資料	114	項目番号	2(1)
事務事業名	資料収集調査研究費								所管部課名	教育総務部		
										博物館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法第3条第1項						
事業目的	三浦半島の中核的博物館として、地域の自然、歴史、民俗に係る資料を収集し、それらを学問的に分類・体系化し後世に残すとともに、地域の総合的学問として郷土の理解を深めることに資するための調査研究費である。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	調査研究活動 1. 三浦半島の地質及び化石に関する調査研究 2. 三浦半島の植物相及び海藻の分類 3. 三浦半島の甲殻類などの海洋生物の分類に関する調査研究 4. 三浦半島の昆虫相及び昆虫の発生、ガロアムシなどの分類に関する調査研究 5. 市内及び三浦半島地域の歴史資料調査 6. 三浦半島の建築史・土木史・都市史の調査研究 7. 三浦半島の民俗の研究 8. 三浦半島の古墳の研究、ハニワの比較研究						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,195	764	1,004	1,043	千円
b 人件費	17,632	17,999	18,759	18,591	千円
正規職員	2.1	2.1	2.1	2.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	18,827	18,763	19,763	19,634	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・研究発表 5回 ・論文等執筆 14件 ・その他執筆 5件	・研究発表 7回 ・論文等執筆 13件 ・その他執筆 13件	・研究発表 5回 ・論文等執筆 22件 ・その他執筆 10件

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	物価高騰により令和6年度と比べて人件費等の支出が増加した。
今後の事業 の方向性	横須賀市自然・人文博物館は、昭和29年に久里浜に開館して以来70年にわたり、本市を含む三浦半島の自然と歴史の史資料を「収集・保存・管理」、「調査・研究」、「展示・教育普及活動」を行っている総合博物館であり、博物館法に基づく登録博物館である。それら全ては市民の財産であり、今後も、その役割を充実させ、より市民に開かれた、また誰もが学びを深められる博物館として、事業を継続していく必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	5	説明資料	114	項目番号	2(2)
事務事業名	資料分類整理保存費								所管部課名	教育総務部 博物館運営課		

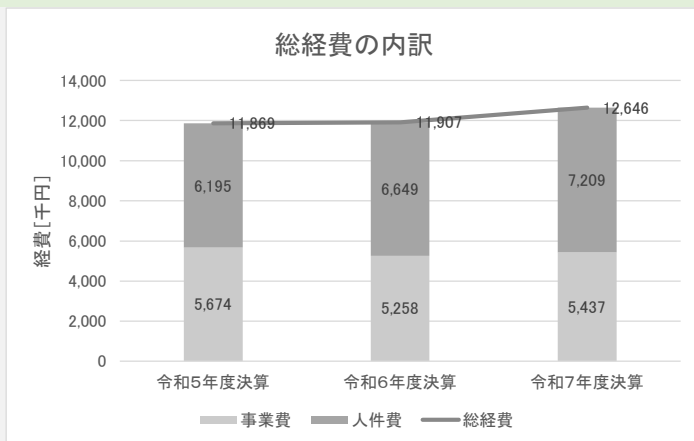
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法第3条第1項						
事業目的	利用者が求める資料の閲覧・検索などが簡便に行えるように資料の分類・整理を行うとともに、市民の財産である資料の保存を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	収集及び寄贈された博物館資料を分類整理して登録・保管し、あわせて各資料のもつ情報及び画像をデータベース化する。また、重要資(史)料を最適な状態で保存するため、害虫及び真菌類の把握調査と燻蒸により、害虫等の駆除を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,674	5,258	5,437	5,492	千円
b 人件費	6,195	6,649	7,209	7,440	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	3,676	4,078	4,529	4,784	千円
総経費（a + b）	11,869	11,907	12,646	12,932	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・寄贈資料 7件 ・借用資料 3件 ・新規登録件数 地球科学 213件 動物 230件 植物 63件 自然科学図書資料 363件 人文科学図書資料 506件 ・資料の利用 27件		・寄贈資料 4件 ・新規登録件数 地球科学 3件 動物 681件 植物 136件 歴史 1件 自然科学図書資料 336件 人文科学図書資料 605件 ・資料の利用 41件	・寄贈資料 7件 ・新規登録件数 動物 207件 植物 262件 自然科学図書資料 126件 人文科学図書資料 413件 ・資料の利用 49件
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	物価高騰により令和6年度と比べて人件費等の支出が増加した。		
今後の事業 の方向性	横須賀市自然・人文博物館は、昭和29年に久里浜に開館して以来70年にわたり、本市を含む三浦半島の自然と歴史の史資料を「収集・保存・管理」、「調査・研究」、「展示・教育普及活動」を行っている総合博物館であり、博物館法に基づく登録博物館である。それら全ては市民の財産であり、今後も、その役割を充実させ、より市民に開かれた、また誰もが学びを深められる博物館として、事業を継続していく必要がある。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	5	説明資料	114	項目番号	2(3)
事務事業名	展示教育普及費										所管部課名	教育総務部		
												博物館運営課		

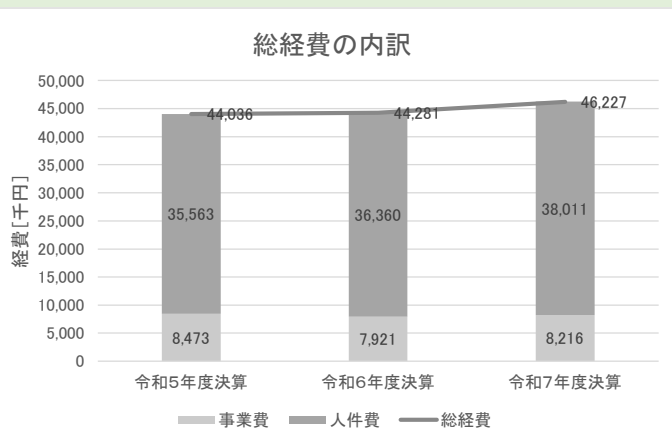
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法第3条第1項						
事業目的	三浦半島を中心とする地域の自然、歴史、民俗に関する資料の展示を行い、展示に関する解説、講演会や博物館教室などの行事を開催し、研究報告、展示図録、資料目録などの印刷物を刊行することによって、市民の自然科学や歴史科学に対する理解を助け、地域の文化的アイデンティティの普及や児童生徒の学習に寄与する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・特別展示、企画展示 ・博物館教室、野外学習・自然観察会等の博物館行事 ・研究報告、館報、資料集等の刊行物の発行 ・学校授業支援						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	8,473	7,921	8,216	8,289	千円
b 人件費	35,563	36,360	38,011	37,675	千円
正規職員	4.2	4.2	4.2	4.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	300	362	492	492	千円
総経費（a + b）	44,036	44,281	46,227	45,964	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
(特別展示) ・みどりの不思議－多様な植物の世界－ (企画展示) ・牧野富太郎がみつめた植物－植物標本が語るもの－ ・横須賀の職人道具 (研究発表会) 1回実施 延参加者3,239人 (トビックス展示)・自然 9回、人文 5回実施 (博物館教室) 10講座 延27日 延参加者511人 (自然観察会) 17件 延参加者378人 (展示解説) 25件 延参加者482人 博物館クイズ「すかぞうの挑戦状」 6件 62日 延参加者1,201人	(特別展示) ・市街地が語る横須賀～中央・追浜の先駆性と変貌～ ・市街地が語る横須賀～中央・追浜の先駆性と変貌～ (企画展示) ・横須賀の職人道具 ・しぜん☆はくぶつチャンピオンシップ (研究発表会) 1回実施 延参加者3,403人 (トビックス展示)・自然 11回、人文 6回実施 (博物館教室) 3講座 延10日 延参加者252人 (自然観察会) 12件 延参加者347人 (展示解説) 33件 延参加者766人 博物館クイズ「すかぞうの挑戦状」 5件 177日 延参加者2,962人	(特別展示) ・市街地が語る横須賀～中央・追浜の先駆性と変貌～ ・横須賀の歩んだ昭和 (企画展示) ・令和7年度 かながわの遺跡展「あつまれ！！かながわのはにわ」 ・探究！身近な昆虫撮り歩き (研究発表会) 1回実施 延参加者3,832人 (トビックス展示)・自然 9回、人文 5回実施 (博物館教室) 4講座 延12日 延参加者316人 (自然観察会) 9件 延参加者342人 (展示解説) 10件 延参加者861人 博物館クイズ「すかぞうの挑戦状」 4件 155日 延参加者 2,854人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	物価高騰により令和6年度と比べて人件費の支出が増加した。
今後の事業 の方向性	横須賀市自然・人文博物館は、昭和29年に久里浜に開館して以来70年にわたり、本市を含む三浦半島の自然と歴史の史資料を「収集・保存・管理」、「調査・研究」、「展示・教育普及活動」を行っている総合博物館であり、博物館法に基づく登録博物館である。それら全ては市民の財産であり、今後も、その役割を充実させ、より市民に開かれた、また誰もが学びを深められる博物館として、事業を継続していく必要がある。加えて、大人だけでなく子どもの理解と感動を生む展示などの工夫・検討を行っていく必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	5	説明資料	115	項目番号	3(1)
事務事業名	博物館本館費										所管部課名	教育総務部		
												博物館運営課		

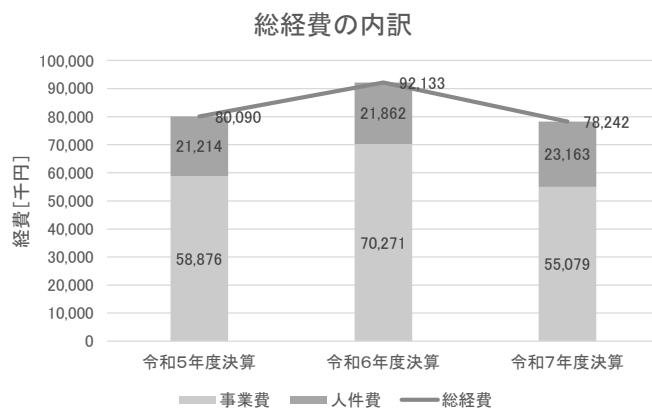
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	利用者に安全かつ快適な空間を提供する。 展示物、収集資料等の保存環境を整備・維持する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	自然・人文博物館の維持・管理・運営のため、清掃、警備、保守管理、検査などの業務の委託、光熱水費等の必要な経費の執行管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	58,876	70,271	55,079	56,896	千円
b 人件費	21,214	21,862	23,163	23,301	千円
正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.7	0.7	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	725	936	5,297	5,595	千円
総経費（a + b）	80,090	92,133	78,242	80,197	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
自然・人文博物館の維持管理 ・清掃委託、警備委託、空調・消防用設備・エレベーター・中央監視設備・施設管理業務等の各種保守管理委託、検査委託等 ・光熱水費、下水道使用料等公共料金 ・修繕料 - 建物設備修繕 - 照明設備修繕 - 建物施設修繕 入館者数 68,600人(開館日数 305日)	自然・人文博物館の維持管理 ・清掃委託、警備委託、空調・消防用設備・エレベーター・中央監視設備・施設管理業務等の各種保守管理委託、検査委託等 ・光熱水費、下水道使用料等公共料金 ・修繕料 - 高圧ケーブル交換修繕 - 中央監視盤修繕 - 地下ダクト修繕 入館者数 66,149人(開館日数 303日)	自然・人文博物館の維持管理 ・清掃委託、警備委託、空調・消防用設備・エレベーター・中央監視設備・施設管理業務等の各種保守管理委託、検査委託等 ・光熱水費、下水道使用料等公共料金 ・修繕料 - 空調設備修繕 - 天井修繕 - 自然館雨どい詰り修繕 入館者数 71,631人(開館日数 304日)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	燃料費の高騰等の影響により、令和6年度は令和5年度と比べて電気料金単価が高くなったため光熱費が増加した。令和6年度に博物館ホームページを更新したことにより、令和7年度委託料の支出が減少した。
今後の事業 の方向性	横須賀市自然・人文博物館は、本市を含む三浦半島の自然と歴史の史資料を「収集・保存・管理」、「調査・研究」、「展示・教育普及活動」を行っている総合博物館であり、博物館法に基づく登録博物館である。それら全ては市民の財産であり、今後も、その役割を充実させ、より市民に開かれた、また誰もが学びを深められる博物館として、事業を継続していく必要がある。また、本館は、昭和45年に自然館、昭和58年に人文館が開館し、建築年数が50年を越えるため、利用者に安全かつ快適な環境を提供するためには、設備等の定期的な点検が継続的に必要である。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	5	説明資料	116	項目番号	3(2)
事務事業名	自然教育園費										所管部課名	教育総務部		
												博物館運営課		

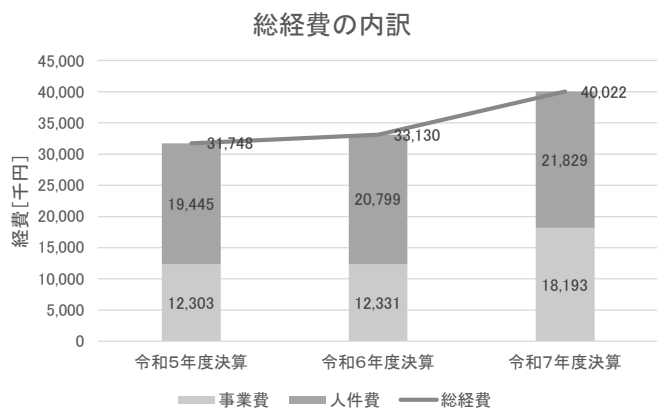
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法第3条第1項						
事業目的	博物館の付属施設である馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園の利用者に安全かつ快適な空間を提供する。 展示物、収集資料等の保存環境を整備・維持する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	馬堀自然教育園及び天神島臨海自然教育園の維持・管理・運営のため、清掃、警備、保守管理、検査などの業務の委託、光熱水費等の必要な経費の執行管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	12,303	12,331	18,193	18,760	千円
b 人件費	19,445	20,799	21,829	22,172	千円
正規職員	0.6	0.6	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	13,351	14,575	16,469	16,860	千円
総経費（a + b）	31,748	33,130	40,022	40,932	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
馬堀・天神島自然教育園の維持管理 ・清掃委託、警備委託、消防用設備・エレベーター・自動扉の保守管理委託、樹木等管理委託、検査委託等 ・光熱水費、下水道使用料等公共料金 ・設備、機器修繕料 ・入園者数(開園日数 馬堀308日 天神308日) - 馬堀自然教育園 2,173人、天神島 39,219人 ・自然観察会の実施 (馬堀)ホテルの観察、トウキョウサンショウウオのかんさつ(天神島)潮だまりの生き物観察、ウミウシの観察、夜の昆虫かんさつ ・天神島ガイドツアーの実施		馬堀・天神島自然教育園の維持管理 ・清掃委託、警備委託、消防用設備・エレベーター・自動扉の保守管理委託、樹木等管理委託、検査委託等 ・光熱水費、下水道使用料等公共料金 ・設備、機器修繕料 ・入園者数(開園日数 馬堀307日 天神307日) - 馬堀自然教育園 1,689人、天神島 36,069人 ・自然観察会の実施 (馬堀)ホテルの観察 (天神島)潮だまりの生き物観察、ウミウシの観察、夜の昆虫かんさつ、箱めがねで磯の生き物観察	馬堀・天神島自然教育園の維持管理 ・清掃委託、警備委託、消防用設備・エレベーター・自動扉の保守管理委託、樹木等管理委託、検査委託等 ・光熱水費、下水道使用料等公共料金 ・設備、機器修繕料 ・天神島駐車場区画のフェンス修繕 ・入園者数(開園日数 馬堀307日 天神307日) - 馬堀自然教育園 1,727人、天神島 38,651人 ・自然観察会の実施 (馬堀)ホテルの観察 (天神島)天神島とその周辺の地層、潮だまりの生き物、夜の昆虫かんさつ ・天神島ガイドツアーの実施
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	物価高騰により令和6年度と比べて人件費及び管理経費の支出が増加した。 令和7年度に天神島の駐車場の区画フェンスを設置したことにより支出が増加した。		
今後の事業 の方向性	天神島自然教育園は、県の天然記念物及び名勝、馬堀自然教育園は、市の天然記念物に指定され保護しているとともに、学びの場として多くの来園者がある。どちらの施設も建築年数は60年前後と老朽化しており、利用者に安全かつ快適な環境を提供するためには、設備等の定期的な点検及び維持管理が継続的に必要である。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	5	説明資料	117	項目番号	4(1)
事務事業名	ヴェルニー記念館費								所管部課名	教育総務部		
										博物館運営課		

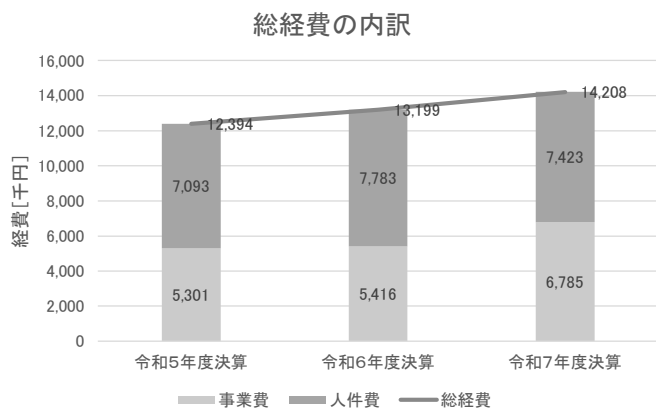
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和7年度	(サンセット)
分類	施設の維持管理に係る業務							
根拠法令								
事業目的	博物館の付属施設であるヴェルニー記念館の利用者に安全かつ快適な空間を提供する。 展示物、収集資料等の保存環境を整備・維持する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	ヴェルニー記念館の維持・管理・運営のため、清掃、警備、保守管理、検査などの業務の委託、光熱水費等の必要な経費の執行管理							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,301	5,416	6,785	9,212	千円
b 人件費	7,093	7,783	7,423	7,967	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	4,046	4,671	4,743	5,311	千円
総経費（a + b）	12,394	13,199	14,208	17,179	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
ヴェルニー記念館の維持管理 ・清掃委託、警備委託、消防用設備・自動扉・空調等保守管理委託、国指定重要文化財スチームハンマー2基の検査委託等 光熱水費(電気) 館内くん蒸 年2回実施 入館者数 72,079人(開館日数 270日)	ヴェルニー記念館の維持管理 ・清掃委託、警備委託、消防用設備・自動扉・空調等保守管理委託、国指定重要文化財スチームハンマー2基の検査委託等 光熱水費(電気) 館内くん蒸 年2回実施 入館者数 94,392人(開館日数 307日)	ヴェルニー記念館の維持管理 ・清掃委託、警備委託、消防用設備・自動扉・空調等保守管理委託、国指定重要文化財スチームハンマー2基の検査委託等 光熱水費(電気) 館内くん蒸 年2回実施 館内レイアウト変更及び案内カウンターの設置 入館者数 94,070人(開館日数 294日)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	物価高騰により令和6年度と比べて人件費及び維持管理に係る支出が増加した。 館内のレイアウト変更に伴う改修及び案内カウンターを設置したことにより支出が増加した。
今後の事業 の方向性	施設内に国指定の重要文化財が展示されており、近代化遺産の学習の場として、また、ルートミュージアムのサテライトとして、今後も利用者に安全かつ快適な環境を提供することが重要であるため、事業を継続していく必要がある。令和8年度以降は、施設の管理を文化スポーツ観光部に移管し事業を継続していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検																													
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	5	説明資料	117	項目番号	5															
事務事業名	博物館リニューアル事業費										所管部課名	教育総務部 博物館運営課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	直営	財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		令和11年度	(サンセット)																	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																												
根拠法令																													
事業目的	博物館内をリニューアルし、利用者に分かりやすい展示空間を提供する。 展示物、収集資料等の保存環境を再整備する。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																	
具体的な 事業内容	展示内容の刷新、保管資料環境の再整備、館内のバリアフリー化と設備改善の強化																												
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																													
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																				
a 事業費（予算現額・支出済額）					0	19,184	37,518	41,850	千円																				
b 人件費					0	12,857	13,400	13,280	千円																				
正規職員					0.0	1.5	1.5	1.5	人																				
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																				
総経費（a + b）					0	32,041	50,918	55,130	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																													
総経費の内訳 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>事業費 (千円)</th><th>人件費 (千円)</th><th>総経費 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>19,184</td><td>12,857</td><td>32,041</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>37,518</td><td>13,400</td><td>50,918</td></tr></tbody></table>														年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	令和5年度決算	0	0	0	令和6年度決算	19,184	12,857	32,041	令和7年度決算	37,518	13,400	50,918
年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)																										
令和5年度決算	0	0	0																										
令和6年度決算	19,184	12,857	32,041																										
令和7年度決算	37,518	13,400	50,918																										
令和 5 年度の活動実績				令和 6 年度の活動実績				令和 7 年度の活動実績																					
—				博物館リニューアル基本計画(素案)の作成 建築基準に係る適合調査の実施				博物館リニューアル基本計画の策定 博物館リニューアル募集要項(素案)の作成																					
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）		リニューアル募集要領の作成支援に係る委託を実施したことにより支出が増加した。																											
今後の事業 の方向性		博物館リニューアルに係る実施設計、改修工事及び展示制作等について、公募型プロポーザル方式により事業者を選定する。選定後、令和11年度までに実施設計、改修工事及び展示制作等を完了し、令和12年度のリニューアルオープンを目指す。																											

令和 8 年度 事務事業等の総点検														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	5	説明資料	117	項目番号	6
事務事業名	博物館基金積立金										所管部課名	教育総務部 博物館運営課		
(1) 事務事業の概要														
実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定							
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務													
根拠法令														
事業目的	博物館運営のための基金の管理										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画		
具体的な事業内容	利子の積み立て及び事業費充当のための取り崩し													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位					
a 事業費（予算現額・支出済額）							5,301	5,006	千円					
b 人件費					0	0	2,680	2,656	千円					
正規職員							0.3	0.3	人					
再任用職員（短時間を含む）							0.0	0.0	人					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）							0	0	千円					
総経費（a + b）					0	0	7,981	7,662	千円					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）														
総経費の内訳														
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績				
										令和6年度末現在高 0円 積立金 5,135,038円 取崩額 0円 令和7年度末現在高 5,135,038円 令和8年5月29日に166,100円積立				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）		令和7年度に博物館基金を設立し、積み立てを行なったことによる増。 令和7年度実績 遺贈寄附 5,000,000円 一般寄附 100,000円 募金 184,363円 運用利子 16,775円												
今後の事業の方向性		博物館を整備するための必要な財源を確保するために博物館への寄附金及び募金の積み立てを行い、適切に管理する。												

令和 8 年度 事務事業等の総点検																													
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	7	目	6	説明資料	119	項目番号	2															
事務事業名	万代会館運営管理費										所管部課名	教育総務部 生涯学習課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																						
分類	施設の維持管理に係る業務																												
根拠法令	文化財保護法																												
事業目的	市指定重要文化財である万代順四郎トミ夫妻別邸の保存活用を図ること										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																	
具体的な事業内容	・管理人の配置 ・庭園の植栽剪定等の管理 ・建物の破損箇所等の修繕																												
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																													
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																				
a 事業費（予算現額・支出済額）					3,672	3,037	3,762	4,830	千円																				
b 人件費					4,667	4,918	5,211	5,086	千円																				
正規職員					0.2	0.2	0.2	0.2	人																				
再任用職員（短時間を含む）					0.4	0.4	0.4	0.4	人																				
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					875	1,042	1,128	1,161	千円																				
総経費（a + b）					8,339	7,955	8,973	9,916	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																													
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>3,672</td><td>4,667</td><td>8,339</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>3,037</td><td>4,918</td><td>7,955</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>3,762</td><td>5,211</td><td>8,973</td></tr></tbody></table>														年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	3,672	4,667	8,339	令和6年度決算	3,037	4,918	7,955	令和7年度決算	3,762	5,211	8,973
年度	事業費	人件費	総経費																										
令和5年度決算	3,672	4,667	8,339																										
令和6年度決算	3,037	4,918	7,955																										
令和7年度決算	3,762	5,211	8,973																										
令和 5 年度の活動実績				令和 6 年度の活動実績				令和 7 年度の活動実績																					
・庭園の開放 ・建物および庭園の維持管理				・庭園の解放 ・建物および庭園の維持管理				・庭園の解放 ・建物および庭園の維持管理																					
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和7年度に雨戸を全面修理したことにより、修繕料が増加している																												
今後の事業の方向性	今後の保存活用に向けて、他都市の事例等も踏まえながら検討を進めていく。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	万代基金積立金	所管部課名	教育総務部
			生涯学習課

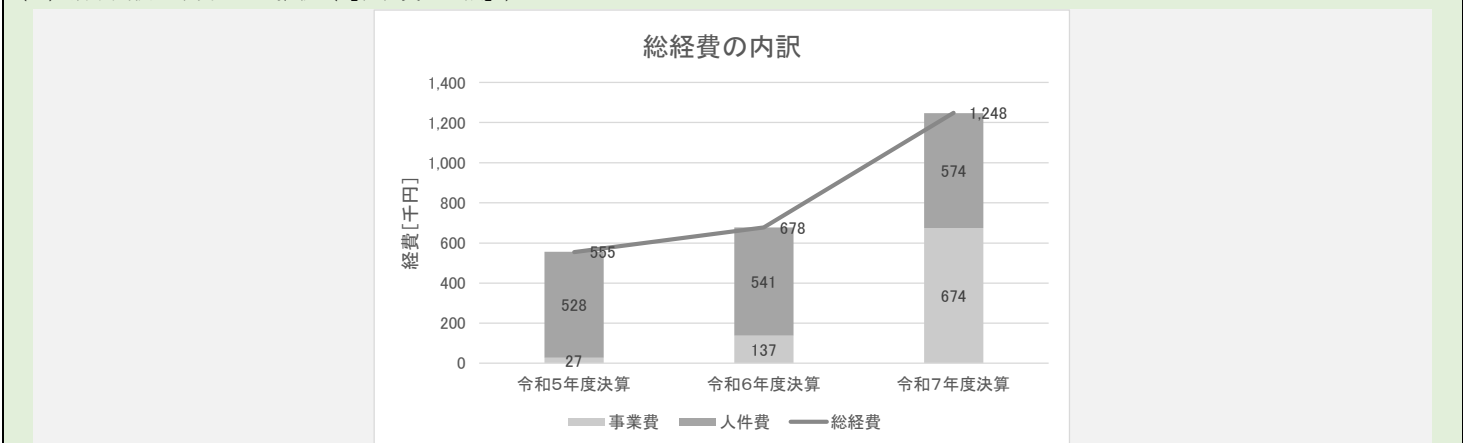
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務							
根拠法令	文化財保護法							
事業目的	万代会館保存のための基金の管理					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	利子の積み立て及び事業費充当のための取り崩し							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	27	137	674	674	千円
b 人件費	528	541	574	539	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	555	678	1,248	1,213	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績		令和 7 年度の活動実績	
令和4年度末現在高	210,481,202円	令和5年度末現在高	206,415,812円	令和6年度末現在高	202,006,334円
積立金	27,367円	積立金	136,586円	積立金	673,615円
取崩額	4,092,757円	取崩額	4,546,064円	取崩額	1,226,800円
令和5年度末現在高	206,415,812円	令和6年度末現在高	202,006,334円	令和7年度末現在高	201,453,149円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	現状において毎年の積立金は利子収入のみであり、利子収入が年々増加している。
今後の事業 の方向性	万代会館の保存に必要な資金であるため、継続していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	7	目	7	説明資料	121	項目番号	1
事務事業名	生涯学習センター運営管理費								所管部課名	教育総務部		
										生涯学習課		

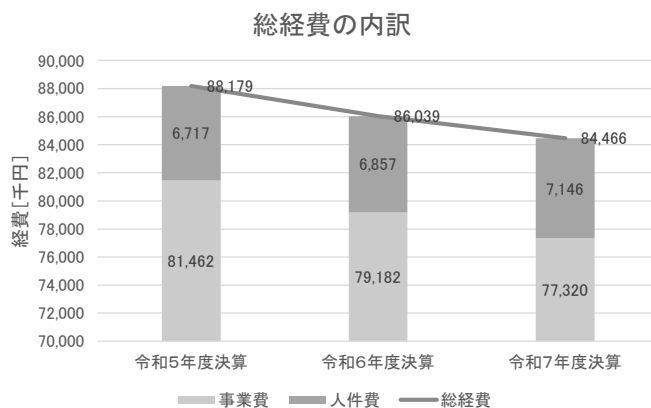
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	教育基本法、社会教育法						
事業目的	多様な学習の場と機会の提供、学習情報の収集・提供等を行うことにより、市民の学習活動を支援する。(教育基本法第3条、社会教育法第3条及び第5条)					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	指定管理者制度による生涯学習センターの管理運営 ・施設の管理運営(貸館事業) ・市民大学事業 ・学習情報提供・学習相談事業 ・学習成果地域活用事業						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	81,462	79,182	77,320	78,460	千円
b 人件費	6,717	6,857	7,146	7,082	千円
正規職員	0.8	0.8	0.8	0.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	88,179	86,039	84,466	85,542	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
指定管理事業 ・年間開館日数 354日 ・生涯学習センター利用者数 105,882人 ・市民大学講座数及びコマ数 71講座 390コマ ・市民大学受講者数 6,013人 ・学習相談・情報提供件数 8,698件 ・学習成果地域活用事業における講座数及び参加者数 12講座 142人 生涯学習センターの備品等の購入や保守管理	指定管理事業 ・年間開館日数 353日 ・生涯学習センター利用者数 100,406人 ・市民大学講座数及びコマ数 72講座 402コマ ・市民大学受講者数 6,400人 ・学習相談・情報提供件数 8,459件 ・学習成果地域活用事業における講座数及び参加者数 1講座 29人 生涯学習センターの備品等の購入や保守管理	指定管理事業 ・年間開館日数 353日 ・生涯学習センター利用者数 108,112人 ・市民大学講座数及びコマ数 73講座 387コマ ・市民大学受講者数 6,849人 ・学習相談・情報提供件数 9,031件 ・学習成果地域活用事業における講座数及び参加者数 11講座 167人 (※令和7年度は、隔年実施のABCプランの実施年度のため、前年度と差あり) 生涯学習センターの備品等の購入や保守管理

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和6年度以降は、生涯学習システム機器を更新し、リース料や保守委託料が従前のシステムより低額となったため事業費が減少している。
今後の事業の方向性	・今後も市民の生涯学習活動の拠点として事業を継続していく。 ・市民大学講座は幅広い分野をそろえ、講座の選択肢や参加しやすさに配慮し、多くの受講者を集めている。今後も多くの方に学びの機会の提供を継続していく。 ・市民ボランティアが市民大学講座を企画・運営する活動を適切な支援を行いながら継続していく。